

武蔵国の古墳と 秩父の荒覇吐神社の探索!!

今回は多摩川流域からさらに武蔵国の比企地方に足を運び弥生時代(それ以前かもしれない)～前期古墳期に稲作文化をもった集団が西方から移住し比企地方に定着を始め高坂台地の反町遺跡(都幾川右岸集落)や東松山台地の五領遺跡、下野本に全長115mもの前方後円墳(野本將軍塚古墳)を造成した。今回はこれらの集団の古墳を散策し、東松山埋蔵文化財センターに立寄りこれらの住居跡、古墳より出土した三角縁神鏡、振文鏡、土師器等を見る。

その後秩父地方の和銅遺跡・露天掘跡へ秩父の和銅山のすそ野で708年に日本で初の自然銅(ニギアカガネ)が発見されて朝廷に献上されそれをきっかけに年号も「**和銅**」になり日本最初の流通貨幣「**和同開珎**」が発行された。

近くにある聖神社の創建は和銅元年。それ以前「祝山」にあつたのを移築和田家文書の「天皇記、国記は遠けき坂東の武蔵国和銅釜落なる荒覇吐神社に秘蔵し、倭朝の手に入らざりき……」果たして坂東の武蔵国和銅の荒覇吐神社はどこか? 2～3カ所神社を巡ってみよう!!



野本將軍塚古墳



主な見学地

※状況により変更の場合あり

① 野本將軍塚古墳 前方後円墳 115m 未発掘・盗掘の形跡なし!
4世紀後半 (稻荷山古墳より約100年前)

② 高坂古墳群 前方後円墳 4世紀後半
8号古墳 振文鏡、仿製鏡、管玉、土師器 出土
9号古墳 三角縁神鏡 出土

③ 反町遺跡 26基 主に前方後円墳だった
関東初の玉造工房跡
山梨の水晶を使った勾玉出土

④ 東松山埋蔵文化財センター 比企地方での出土品 豊富に展示

⑤ 和銅遺跡、露天掘跡 秩父市黒谷
和同開珎の発行の基になる銅の発掘跡



振文鏡



管玉・勾玉



三角縁神鏡



和銅探掘露天掘跡

日程 令和元年8月2日(金) 日帰り

交通手段 全行程 小型バス利用

集合場所 東武東上線 高坂駅東口 ○集合・出発 **10:00**

参考/池袋駅8:45(急行小川町行き) 高坂9:35着
池袋駅9:00(急行小川町行き) 高坂9:50着

解散 西武秩父線 西武秩父駅 解散

旅行費用 **6,000円**

募集人員：**28名**
催行人員：**20名**